

令和元年度 事務事業評価シート(詳細) ※平成30年度に実施した事業を評価しています

基本情報

事務事業名	類似公民館の補助			
担当部署	教育総務部	中央公民館	事業コード	20
所属長	久津間 義雄		事業区分	ソフト事業
予算事業名	地域の教育活動振興事業		新規・継続	継続
予算事業コード	会計	10	款	10
			項	06
			目	06
			事業開始年度	不明

1. 事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等(Plan)

第四次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)

基本目標(章)	第3章	歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち	法令による実施義務	義務ではない
施策	11	生涯学習活動の推進	根拠となる法令	なし
取組施策	2	家庭や地域の教育力向上	その他実施根拠(条例、要綱等)	公民館処務規程・川越市町内公民館講座開設補助金交付要綱
関連事業	公民館活動の充実			

2. 事業の目的と概要(Plan)

実施主体	補助金			
対象(誰・何を対象に)	自治会等が維持管理している公民館において講座を開設する者。			
目的(対象をどのようにしたいか)	地域の教育活動の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とする講座を開設する者に対し、補助金を交付し、町内等の公民館活動の充実を図る。			
事業の概要(活動内容、実施手段・方法など)	自治会等が維持管理している公民館において年9回以上の講座を開設(うち3分の1以上を子ども対象のものとする。)し、その活動に係る経費を申請した者に対して補助を行う。			

3. 前年度に立てた計画(Plan)

各自治会への説明会等を実施し、補助申請を受けた後、交付金額を決定し、補助を行う。事業実施後に、各自治会からの実績報告書を審査する。

4. 取組実績(Do)

・当初予定団体より多い93団体からの補助申請があり、補助額を按分することにより、事業を実施した団体へ補助を行った。  
 399世帯以下 補助額:22,050円 団体数:37団体 補助額合計:815,850円  
 400~799世帯 補助額:25,200円 団体数:33団体 補助額合計:831,600円  
 800~1,199世帯 補助額:28,350円 団体数:19団体 補助額合計:538,650円  
 1,200~1,599世帯 補助額:31,500円 団体数:1団体 補助額合計:31,500円  
 1,600~1,999世帯 補助額:34,650円 団体数:3団体 補助額合計:103,950円

5. 実施にかかるコスト(Do)

(単位:千円)

(1) 支出の部		28年度	29年度	30年度	元年度(見込額)	備考
人件費	A	12,699	12,925	12,971	13,734	平成31年度から霞ヶ関西公民館が新設されたことから、0.1人を増加し、1.70人を1.80人としている。
	正規職員(1年間の従事人数)	1.70人	1.70人	1.70人	1.80人	
	臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
事業費	B	2,322	2,322	2,322	2,322	
	補助金	2,322	2,322	2,322	2,322	
総支出(A+B)		15,021	15,247	15,293	16,056	

(2) 収入の部		28年度	29年度	30年度	元年度(見込額)	備考
国庫支出金		0	0	0	0	使用料収入等は、公民館運営管理事業等に充当させていることから、すべて一般財源としたものである。
県支出金		0	0	0	0	
地方債		0	0	0	0	
使用料・手数料		0	0	0	0	
その他特定財源		0	0	0	0	
一般財源		15,021	15,247	15,293	16,056	
総収入		15,021	15,247	15,293	16,056	

## 6. 指標による分析 (Check)

### (1) 活動指標

評価指標	単位	28年度	29年度	30年度	元年度(予定)	単位当たり費用 (下段は前年度)
補助団体数	団体	86	95	93	98	164.44
指標の定義・説明	補助を行う団体数					160.50
事業参加者数	人	157,341	175,373	171,558	176,000	0.09
指標の定義・説明	講座等に参加した人数					0.09

### (2) 成果指標

評価指標	単位	28年度	29年度	30年度	元年度目標値	将来目標値	単位当たり費用 (下段は前年度)
				(目標)		年度	#DIV/0!
				(実績)		年度	#DIV/0!
指標の定義・説明							#DIV/0!
				(目標)		年度	#DIV/0!
				(実績)		年度	#DIV/0!
指標の定義・説明							#DIV/0!

## 7. 評価 (Check)

項目	評価	評価コメント及び課題等
必要性	B	市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか 地域に根差した公民館が、子どもを対象とした事業を中心に企画・実施することにより、世代間交流の場となるとともに、地域の教育力が向上することを目的としているものである。
有効性	A	施策の目標の達成に貢献しているか 第四次川越市総合計画の取り組み施策(No.11-2)に記載されている事業である。
達成度	B	設定した活動・成果指標の目標を達成しているか 例年、90前後の団体から申請を受け、全市的に公民館事業が展開されており、参加者数の増減はあるものの、おおむね事業の目的は達成できた。
効率性	B	民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担(補助)の適正化が図られているか 補助の水準等については、今後、精査していくこととし、改善を図っていくこととしたい。
総合評価	B	補助を通して、全市的に公民館事業が展開されるとともに、自治会等が主体的に活動することにより、地域の教育力向上が図れた。

## 8. 今後の方向性及び今後の取組(改善策など)(Action)

今後の方向性	改善
元年度	延べ参加者数が17万人を超えており、世代間交流の場として地域の教育力向上に資すること等から、限られた予算の中で、一定の成果があると思われる。また、川越市における他の補助事業と重なることのないよう、説明会等を実施していくこととする。
2年度	他市の補助制度について、今後、詳細なアンケート調査等を実施していくこととする。 引き続き、効率的かつ効果的な補助制度を行い、地域の教育活動を充実させていくこととする。

## 【参考】

### (1) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

### (2) これまでの見直しや改善等の経過

平成9年度から現交付要綱を設置  
平成25年6月、補助金交付申請書受領の際の確認事項についてを通知